重要事項説明書

			記入年月日	2013/7/1
記入者名	作田	径代	所属・職名	メディカルホームまどか浦和領家・ホーム長

1. 事業主体概要

事業	事業主体の名称、主たる事務所の所在地及び電話番号その他の連絡先				
		法人等の種類	なし あり 営利法人		
	事業主体の名称	名称	(ふりがな)かぶしきかいしゃべねっせすたいるけあ		
		右 柳	株式会社ベネッセスタイルケア		
	事業主体の主たる事	〒 150-0002			
	務所の所在地	東京都渋谷区渋谷	S二丁目17番5号 シオノギ渋谷ビル		
		電話番号	03-5766-9805		
	事業主体の連絡先	FAX番号	03-5766-9815		
	サ 未 工 仲 の 圧 桁 九	ホームページア	なし		
		ドレス	あり: http://www.benesse-style-care.co.jp/		
車業	主体の代表者の	氏名	小林 仁		
尹未	(工件の)(改有の	職名	代表取締役		
事業	主体の設立年月日	平成7年9月7日			

「業主体が当該都道府県内で実施する介護サービス						
介護サービスの種類			事業所の名称	所	在	地
(居宅サービス>						
訪問介護	あり	なし				
訪問入浴介護	あり	なし				
訪問看護	あり	なし				
訪問リハビリテーション	あり	なし				
居宅療養管理指導	あり	なし				
通所介護	あり	なし				
通所リハビリテーション	あり	なし				
短期入所生活介護	あり	なし				
短期入所療養介護	あり	なし				
特定施設入居者生活介護	あり	なし	まどか大宮 他 計19施設	さいたまī 2-183	市大宮区	遂浅間町
福祉用具貸与	あり	なし				
特定福祉用具販売	あり	なし				
(地域密着型サービス>						
定期巡回・随時訪問介護・看護	あり	なし				
夜間対応型訪問介護	あり	なし				
認知症対応型通所介護	あり	なし				
小規模多機能型居宅介護	あり	なし				
認知症対応型共同生活介護	あり	なし				
地域密着型特定施設入居者生活介護	あり	なし				
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	あり	なし				
複合型サービス	あり	なし				
宇介護支援	あり	なし				
〈居宅介護予防サービス>						
介護予防訪問介護	あり	なし				
介護予防訪問入浴介護	あり	なし				
介護予防訪問看護	あり	なし				
介護予防訪問リハビリテーション	あり	なし				
介護予防居宅療養管理指導	あり	なし				
介護予防通所介護	あり	なし				
介護予防通所リハビリテーション	あり	なし				
介護予防短期入所生活介護	あり	なし				
介護予防短期入所療養介護	あり	なし				
介護予防特定施設入居者生活介護	あり	なし	まどか大宮 他 計19施設	さいたまī 2-183	市大宮区	送浅間町
介護予防福祉用具貸与	あり	なし				
特定介護予防福祉用具販売	あり	なし				
(地域密着型介護予防サービス>			-	•		
介護予防認知症対応型通所介護	あり	なし				
介護予防小規模多機能型居宅介護	あり	なし				
介護予防認知症対応型共同生活介護	あり	なし				
↑護予防支援	あり	なし				
〈介護保険施設>	-		•	•		
介護老人福祉施設	あり	なし				
介護老人保健施設	あり	なし		1		
介護療養型医療施設	あり	なし		1		

2. 施設概要

施設の名称、所在地及び	電話番号をの他の	连桁 龙
施設の名称	(ふりがな)	めでぃかるほーむまどかうらわりょうけ
心設の名称		メディカルホームまどか浦和領家
施設の所在地	〒 330-0072	
施設の所生地	埼玉県さいたまī	- 市浦和区領家七丁目5番22号
	電話番号	048-823-7023
電話番号	FAX番号	048-823-7238
电动管与	ホームページア	なし
	ドレス	あり: http://www.benesse-style-care.co.jp/
設の開設年月日		平成18年11月25日
設の管理者の氏名	氏名	作田 径代
設の官珪石の氏石	職名	ホーム長
JR京浜東北線「北		步16分(約1,280m)
JR京浜東北線「北	浦和」駅下車を徒	歩16分(約1,280m)
JR京浜東北線「北	浦和」駅下車 徒 類型:	歩16分(約1,280m) 介護付有料老人ホーム(一般型特定施設)
JR京浜東北線「北		介護付有料老人ホーム(一般型特定施設)
JR京浜東北線「北	類型:	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) : 利用権方式
	類型: 居住の権利形態 利用料支払い方 入居時の要件:	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) : 利用権方式
	類型: 居住の権利形態 利用料支払い方 入居時の要件:	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) ・ 利用権方式 ・ 選択方式
	類型: 居住の権利形態 利用料支払い方 入居時の要件:	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) ・ 利用権方式・ 選択方式自立・要支援・要介護
	類型: 居住の権利形態 利用料支払い方 入居時の要件: 介護保険: 介護居室区分:	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) ・ 利用権方式・ 選択方式自立・要支援・要介護(介護予防)特定施設入居者生活介護
	類型: 居住の権利形態 利用料支払い方 入居時の要件: 介護保険: 介護居室区分:	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) ・ 利用権方式・ 選択方式自立・要支援・要介護(介護予防)特定施設入居者生活介護全室個室
記の類型及び表示事項	類型: 居住の権利形態 利用料支払い方 入居時の要件: 介護保険: 介護居室区分:	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) ・ 利用権方式・ 選択方式自立・要支援・要介護(介護予防)特定施設入居者生活介護全室個室
記の類型及び表示事項 ・護保険事業所番号 ・定施設入居者生活介護	類型: 居住の権利形態 利用料支払い方 入居時の要件: 介護保険: 介護居室区分: 介護にかかわる 1176505905 の事業の開始年月	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) : 利用権方式 式: 選択方式 自立・要支援・要介護 (介護予防)特定施設入居者生活介護 全室個室 職員体制: 2.5対1以上
・護保険事業所番号・定施設入居者生活介護	類型: 居住の権利形態 利用料支払い方 入居時の要件: 介護保険: 介護居室区分: 介護にかかわる 1176505905 の事業の開始年月 た場合にはその年	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) : 利用権方式 式: 選択方式 自立・要支援・要介護 (介護予防)特定施設入居者生活介護 全室個室 職員体制: 2.5対1以上
■設の類型及び表示事項 ■護保険事業所番号 非定施設入居者生活介護 に又は許可の更新を受け	類型: 居住の権利形態 利用料支払い方 入居時の要件: 介護保険: 介護居室区分: 介護にかかわる 1176505905 の事業の開始年月 た場合にはその年	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) 利用権方式

3. 従業者に関する事項

職種別の従業者の人数及びその勤務形態

有料老人ホームの人数及びその勤務形態

実人数	常勤		非常勤		合計	常勤換算人数
夫人致 	専従	非専従	専従	非専従		市到揆异人奴
施設長	1	0	0	0	1	1.0
生活相談員	0	4	0	0	4	1.0
看護職員	3	0	9	0	12	6.3
介護職員	15	3	11	0	29	24.1
機能訓練指導員	0	0	2	0	2	0.1
計画作成担当者	0	1	0	0	1	0.1
栄養士					外部委託	
調理員					外部委託	
事務員	0	0	2	0	2	1.3
その他従業者	0	0	9	0	9	3.9
	務すべき	時間数				40 時間

※ 常勤換算人数とは、当該事業所の従業者の勤務延時間数を当該事業所において常勤の従業者が 勤務すべき時間数で除することにより、当該事業所の従業者の人数を常勤の従業者の人数に換算した人数をいう。

従業者である介護職員が有している資格

延べ人数	常	'勤	非常勤		
些个人奴	専従	非専従	専従	非専従	
社会福祉士	0	0	0	0	
介護福祉士	3	0	0	0	
実務者研修	0	0	0	0	
介護職員初任者研修	12	3	11	0	
介護支援専門員	0	0	0	0	

従業者である機能訓練指導員が有している資格

延べ人数	常	勤	非常勤		
一些个人奴	専従	非専従	専従	非専従	
理学療法士	0	0	1	0	
作業療法士	0	0	1	0	
言語聴覚士	0	0	0	0	
看護師及び准看護師	0	0	0	0	
柔道整復士	0	0	0	0	
あん摩マッサージ指圧師	0	0	0	0	

夜勤を行う看護職員及び介護職員の人数

1 */-	夜勤帯平均人数					最少時人数	
人数	(20	時~	7	時)		
看護職員			1	人		1	人
介護職員			3	人		2	人

実人数	常	常勤		常勤	∧ =1	***************************************
	専従	非専従	専従	非専従	合計	常勤換算人数
生活相談員	0	4	0	0	4	1.0
看護職員	3	0	9	0	12	6.3
介護職員	15	3	11	0	29	24.1
機能訓練指導員	0	0	2	0	2	0.10
計画作成担当者	0	1	0	0	1	0.1
その他従業者	0	0	9	0	9	3.9
 週間のうち、常勤の従業者が勤	1 週間のうち、常勤の従業者が勤務すべき時間数					

※ 常勤換算人数とは、当該事業所の従業者の勤務延時間数を当該事業所において常勤の従業者が 勤務すべき時間数で除することにより、当該事業所の従業者の人数を常勤の従業者の人数に換算した人数をいう。

従業者である介護職員が有している資格

延べ人数	常	勤	非常勤		
些个人奴	専従	非専従	専従	非専従	
社会福祉士	0	0	0	0	
介護福祉士	3	0	0	0	
実務者研修	0	0	0	0	
介護職員初任者研修	12	3	11	0	
介護支援専門員	0	0	0	0	

従業者である機能訓練指導員が有している資格

延べ人数	常	勤	非常勤		
進い八数	専従	非専従	専従	非専従	
理学療法士	0	0	1	0	
作業療法士	0	0	1	0	
言語聴覚士	0	0	0	0	
看護師及び准看護師	0	0	0	0	
柔道整復士	0	0	0	0	
あん摩マッサージ指圧師	0	0	0	0	

管理者の他の職務との兼務の有無 なし

管理者が有している当該業務 に係る資格等 なし 資格等の名称

特定施設入居者生活介護の利用者に対する看護職員及び介護職員の常勤 換算方法による人数の割合

3:1以上

従業者の当該介護サービスに係る業務に従事した経験年数等 看護職員 介護職員 生活相談員 常勤 非常勤 常勤 非常勤 常勤 非常勤 前年度1年間の採用者数 前年度1年間の退職者数 業務に従事した経験年数 1年未満の者の人数 1年以上3年未満の者の人数 3年以上5年未満の者の人数 5年以上10年未満の者の人数 10年以上の者の人数 機能訓練指導員 計画作成担当者 常勤 常勤 非常勤 非常勤 前年度1年間の採用者数 前年度1年間の退職者数 業務に従事した経験年数 1年未満の者の人数 1年以上3年未満の者の人数

なし

あり

3年以上5年未満の者の人数

5年以上10年未満の者の人数

10年以上の者の人数

従業者の健康診断の実施状況

4. サービスの内容

事業の目的、及び運営に関する方針

私たちの家「まどか」は、家庭的な生活を送っていたいだく事を目指した老人ホームです。介護が必要な高齢者の方々にとって少しずつ維持できなくなっていく規則正しい生活やそれまで大切にしてきた生活習慣をいつまでも続けていける・・・そんな普通の生活を送れる場所でありたいと願っています。運営にあたっては、「1 快適で基本的な生活」「2 その方らしさを大切に」「3 ご家族の安心も」「4 趣味・娯楽のお楽しみ」「5 健康管理」を大切にしています。

介護サービスの内容、利用定員等

個別機能訓練の実施(介護報酬の加算)の有無	なし	あり
夜間看護体制加算(介護報酬の加算)の有無	なし	あり
人員配置が手厚い介護サービスの実施の有無	なし	あり
利用者の個別的な選択による介護サービスの実施状況	別	紙

協力医療機関の名称

医療法人誠光会 さいたま在宅医療クリニック

(協力の内容)

医師がホームを定期的に訪問し、受診希望のご利用者への診察(内科) をおこなうほか、ご利用者の健康管理上の助言・指導をホーム職員に対 しておこないます。また、ご利用者に体調変化等が生じた際には、可能 な範囲にて、医師が必要な助言・指示を行います。

協力歯科医療機関

なし

あり その名称

(協力の内容)

要介護時における居室の住み替えに関する事項

要介護時に介護を行う場所

お客様の居室にて介護を行います。

やむを得ず身体拘束を行う場合の手続

(内容)

①「切迫性」「非代替性」「一時性」の三つの要件を満たす状態であるかどうかについて検討・確認・記録いたします。②利用者・家族等に対して説明を行い十分な理解が得られるよう努めます。③緊急やむを得ず利用者の行動を制限する場合には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得なかった理由を記録します。また、拘束解除に向けた取り組みを行い、早期に解除できるよう努めます。

入居後に居室を住み替える場合		
一時介護室へ移る場合		
判断基準・手続について		
(その内容)		
追加的費用の有無	なし	あり
居室利用権の取扱い		
(その内容)		
入居一時金償却の調整の有無	なし	あり
従前の居室からの面積の増減の有無	なし	あり
従前居室との仕様の変更		
便所の変更の有無	なし	あり
浴室の変更の有無	なし	あり
洗面所の変更の有無	なし	あり
台所の有無	なし	あり
その他の変更の有無	なし	あり
(その内容)		
介護居室へ移る場合		
判断基準・手続について		
(その内容)		
追加的費用の有無	なし	あり
居室利用権の取扱い		
(その内容)		
入居一時金償却の調整の有無	なし	あり
従前の居室からの面積の増減の有無	なし	あり
従前居室との仕様の変更		
便所の変更の有無	なし	あり
浴室の変更の有無	なし	あり
洗面所の変更の有無	なし	あり
台所の有無	なし	あり
その他の変更の有無	なし	あり
(その内容)		

	その他	(なし	あり
	判断基準	準・手続について		
	(-	その内容)		
	追加的	 費用の有無	なし	あり
	居室利	用権の取扱い		
	(-	その内容)		
	入居一	時金償却の調整の有無	なし	あり
	従前の	居室からの面積の増減の有無	なし	あり
	従前居!	室との仕様の変更		
	便道	所の変更の有無	なし	あり
	浴	室の変更の有無	なし	あり
	洗i	面所の変更の有無	なし	あり
	台	所の有無	なし	あり
	7	の他の変更の有無	なし	あり
		(その内容)		
施設	の入居に関する	要件		
	自立している者	を対象	なし	あり
	要支援の者を対	象	なし	あり
	要介護の者を対	象 │原則として以下の条件を満たす方が「まどか」を利用	なし	あり
	留意事項	※ 期間設定型契約は契約期間を1年から5年の間で記念 常時または随時、身の回りのお世話や見守りが必要 規定の利用料金の支払いが可能な方 公的な医療保険に加入されている方 公的な介護保険に加入されている方 保証人を定められる方 保証人を定められない方はご相談させていただき で 「まどか」の利用契約書・利用規程等をご承諾いる方	要な方ます。	
契約	の解除の内容	1. 利用者は、1ヶ月前までに書面で通知する。契約を解除できます。 2. 利用料の滞納等の理由により施設より利用割ります。(詳細は別途ご用意しております。)	契約を解除する	る場合があ
体影	入居の内容	利用契約の締結に先立ち、体験利用をしていたが 52,500円 税込) ※介護保険は適用されませんので、全額自己負担 ※上記料金には、食費・水光熱費・介護サービン 望に基づく外出同行等を除く)が含まれます。	旦となります。	
入厄	定員	54 名		
₹ <i>0</i> .)他	■施設の利用にあたっての主な留意事項については、に定めています。 ○物品管理について ・ホームに持込まれる物品は、ご利用者本人の自己・高額の現金や宝飾品等の貴重品の持込みはお断り ○居室利用の留意点について ・居室を第三者に転貸したり、譲渡することはできま ・居室、共用施設、または敷地内で動物を飼育すること。 ・飼育・管理はご利用者がおこなうものとし、ホーム・飼育を希望する場合には、事前にご相談願います。	管理を原則とし しております。 ほせん。 ことは原則でき ふではご協力で	ています。 ません。

	-147 / 011111	の基準日					ı
		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
65歳未満		0	0	0	0	0	0
65歳以上75歳	表未満	0	1	0	0	0	1
75歳以上85歳	表未満	0	2	4	5	5	16
85歳以上		5	2	4	7	13	31
		自立	要支援1	要支援2			合計
65歳未満		0	0	0			0
65歳以上75歳	表未満	0	0	0			0
75歳以上85歳	表未満	0	1	0			1
85歳以上		0	1	0			1
入居者の平均年齢			8	7.1 才			
入居者の男女別人数		男怕	生	16	人女	生	34 人
入居率(一時的に不る	在となってい	る者を含	む。)				92.5
前年度の有料老人ホー	- ムを退去し	た者の人	数				
		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護 5	合計
自宅等		0	0	0	0	0	0
社会福祉施設		0	_				
		v	0	0	0	0	0
医療機関		0	0	0	0	0	0
医療機関 死亡者			·		_		
		0	0	0	0	0	0
死亡者		0	0	0 1 0	0	7	0
死亡者		0 1 0	0 1 0	0 1 0	0	7	0 12 1
死亡者その他		0 1 0 自立	0 1 0 要支援1	0 1 0 要支援2	0	7	0 12 1 合計
死亡者その他自宅等		0 1 0 自立	0 1 0 要支援1	0 1 0 要支援2	0	7	0 12 1 合計
死亡者 その他 自宅等 社会福祉施設		0 1 0 自立 0	0 1 0 要支援1 0	0 1 0 要支援2 0 0	0	7	0 12 1 合計 0
死亡者 その他 自宅等 社会福祉施設 医療機関		0 1 0 自立 0 0	0 1 0 要支援1 0 0	0 1 0 要支援 2 0 0	0	7	0 12 1 合計 0 0
死亡者 その他 自宅等 社会福祉施設 医療機関 死亡者 その他		0 1 0 自立 0 0 0	0 1 0 要支援1 0 0	0 1 0 要支援2 0 0 0	0	7	0 12 1 合計 0 0 0
死亡者 その他 自宅等 社会福祉施設 医療機関 死亡者 その他 入居者の入居期間	G L P±≭	0 1 0 自立 0 0 0	0 1 0 要支援1 0 0 1	0 1 0 要支援2 0 0 0	0	0 7 1	0 12 1 合計 0 0 0 1
死亡者 その他 自宅等 社会福祉施設 医療機関 死亡者	6ヶ月未満	0 1 0 自立 0 0 0	0 1 0 要支援1 0 0 0 1 0	0 1 0 要支援 2 0 0 0	0 2 0	0 7 1	0 12 1 合計 0 0 0

 投、設備等の状況											
建物の構造	建築基準法第2	2条第9号	の2に	こ規定す	る耐火質	建築物			なし	しあ	ŋ
	建築基準法第2	2条第9号	თვ.	こ規定す	る準耐り	く建築	物		なし		_
		<u>区分</u>			室数	11-111	数	10		星の床面	•
石王471八///	一般居室個室		60	なし		+^	-	- '	7/03		mi
	一般居室相部層		<i>b b</i>	なし		1					m²
					<i>E 1</i>		_		10	^	
	介護居室個室		50	なし	54	<u> </u>			18.		mi
	介護居室相部局		9	なし							m <u>i</u>
	一時介護室		60	なし							m
共用便所の設置数	うち男女別の対	付応が可能	な数							4	
	うち車椅子等の	の対応が可	能な数	汝						4	
個室の便所の設置数	個室における	更所の設置	割合						1	00%	
	うち車椅子等の	の対応が可	能な数	汝						54	
浴室の設備状況	浴室の)数	1	個浴	大浴	槽	特	殊浴	曹	リフト	浴
	3			2	0			0		1	
その他、浴室の	 設備に関する事	 項	なし	•							
食堂の設備状況	テーブル、椅·	子、洗面台	・テ	・レビが記	2置され	てい	ます	-			
	 !を行う設備状況	• • •••			1			なし		あり	
その他、共用施設の											
	あり (その	の内容)		ングルー 兼汚物処							先
なし											
なし											
		☑援、要介護(の方にも	も不自由の)ないよう	、バリ	リアフ	リー対	対応を	していまっ	۲.
バリアフリーの対応 (その内容)	状況	型め、火災・ 経資材の使用 対防署に提出 5署の指導の	非常! など(し、! しもと	災害時に の必要な 定期的な	備えて、 処置を行 消防用詞	避難うる	経路かん	の確保 具体的 検を3	呆、消 りな消 実施し	当防用設備 当防計画で していまで	情機を作り
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容)	本状況 車椅子の方、要支 防火管理者を定 器の設置、管轄消 成して、管轄消防 災害時の発生に	型め、火災・ 経資材の使用 対防署に提出 5署の指導の	非常! など(し、! しもと	災害時に の必要な 定期的な で、年2回	備えて、 処置を行 消防用詞	避難 すうほ と備等 消防i	経路 か、: の点 川練 を	の確保 具体的 検を調整	呆、消 りな施し し、	消防用設(消防計画 ルていまで 火災・非	横り、常
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置	本 本 本 本 で 大 で で で で で で で で で で で で で	型め、火災・ 経資材の使用 対防署に提出 5署の指導の	非常! など(し、! しもと	災害時に の必期的な で、年2回 な	備えて、 処置を行 消防用詞	避難 すうは 労働等 消防言	経路の点線を	の確()具体的検を実施	果、消 りな消 実施し、 各居	消防用設備 消防計画で いまで 火災・引 室内によ	横形の常
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置	本 東橋子の方、要支 防火管理者を定 器の設で管理者を定 器のして、管轄消防 災害時の発生に 武 武 大 派 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	型め、火災・ 経資材の使用 対防署に提出 5署の指導の	非常! など(し、! しもと	災害時に 家必期 定で、 な し し	備えて、 処置を行 消防用詞	避難 計うは 等 消防 一部	経路かの点をありり	の確保具体的を実施	呆、消費を 対象を 各居 各居	り防用設備 りでいます。 火災・引 室内によ	横作。常 りり
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置 テレビ回線の設置が	本状況 車椅子の方、要支 防火管理者を定 器の設で、管轄消 成して、管轄消 災害時の発生に 状況 状況	型め、火災・ 経資材の使用 対防署に提出 5署の指導の	非常! など(し、! しもと	災害時に の必期的な で、年2回 な	備えて、 処置を行 消防用詞	避難 すうは 労働等 消防言	経路かの点をありり	の確保具体的を実施	呆、消費を 対象を 各居 各居	消防用設備 消防計画で いまで 火災・引 室内によ	横竹・常 りり
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置 テレビ回線の設置 施設の敷地に関する	本状況 車椅子の方、要支 防火管理者を定 器の設で、管轄消 成して、管轄消 災害時の発生に 状況 状況	型め、火災・ 経資材の使用 対防署に提出 5署の指導の	非常! など(し、! しもと	災害時に 家必期 定で、 な し し	備えて、 処置を行 消防用詞	避難 計うは 等 消防 一部	経路かの点をありり	の確保見体を実施	果、消消を 実がし、 各居 各居	対防用設備 対防計画で 火火災・割 室内にあ	横作。常 6 6 6
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置 テレビ回線の設置が 施設の敷地に関する 敷地の面積	本 本 本 本 で 大 で で で で で で で で で で で で で	型め、火災・ 経資材の使用 対防署に提出 5署の指導の	非常! など(し、! しもと	災の期 宇 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	備えて、 処置を行 消防用詞	避難は等詞 一 一 一 一 部	経かの練をあるありりり	の確保 具体 を 実施	果、消消を 実がし、 各居 各居	対防用設備 対防計画を シアンジ・引 室内にあ 室内にあ	横竹・常 1919
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置が か線電話回線の設置が 施設の敷地に関する 敷地の面積 事業所を運営す	本状況 車椅子の方、要支 防火管理者を定 器のして、管轄消 災害時の発生に 状況 は状況 は状況 は大況 では、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	型め、火災・ 経資材の使用 対防署に提出 5署の指導の	非常! など(し、! しもと	災害時に 家必期 定で、 な し し	備えて、 処置を行 消防用詞	避難は等に対している。	経かの線 りりりり	の確保 具体 を 実施	果、消消を 実がし、 各居 各居	対防用設備 対防計画を シ火 室内にあ 室内にあ の が あり	横竹・常 1919
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置 テレビ回線の設置 施設の敷地に関する 敷地の面積 事業所を運営す 抵当権の設	本状況 車椅子の方、要支 防火管理者を定 器のして、管轄消 災害時の発生に 状況 は状況 は状況 は大況 では、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	型め、火災・ 経資材の使用 対防署に提出 5署の指導の	非常! など(し、! しもと	災の期 宇 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	備えて、 処置を行 消防用詞	避難は等に対している。	経かの練をあるありりり	の確保 具体 を 実施	果、消消を 実がし、 各居 各居	対防用設備 対防計画を シアンジ・引 室内にあ 室内にあ	横を作う。
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置が か線電話回線の設置が 施設の敷地に関する 敷地の面積 事業所を運営す	本状況 車椅子の方、要支 防火管理者を定 器のして、管轄消 災害時の発生に 状況 は状況 は状況 は大況 では、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	≧め、火災・ 経資材の使用 関防署に提出 方署の指導の に備えていま	非常にいいます。	災の定で、 な な な し し し し し	備えて、 処置を行 消防用詞	避難は等に対している。	経かの線 りりりり	の確保 具体 検 を 実施	果、消消を 実がし、 各居 各居	対防用設備 対防計画を シ火 室内にあ 室内にあ の が あり	横を作う。
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置 テレビ回線の設置 施設の敷地に関する 敷地の面積 事業所を運営す 損借(借地)	本 本 本 本 大 大 大 大 で で で で で で で で で で で で で	型め、火災・ 経資材の使用 対路の指導の 活帯えていま	非ない。	災の定で ・ な な な な な な な な な な な な な な な な な な な	備えて、 処置を行 消防用詞	避難は等に対している。	経かの線を りりり り	の確例 具体的 と 実施 (() () () () () () () () () () () () ()	果、消消を 実がし、 各居 各居	解防用設備 解防計画を 次火 <u>室内に都</u> 室内に都 の が あり	横竹・常 1919
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の内容) 緊急通報を関係の設置が か線電話回線の設置が を変して関する 敷地の面積 事業、抵告機の設置する 質借(借地)	ボス 車椅子の方、要支 がアクランでである。 でではまり、一般ではまり、 でではまり、一般ではまり、 ででは、できる。 でできる。 では、できる。 できる。	≧め、火災・ 経資材の使用 関防署に提出 方署の指導の に備えていま	非ない。	災の定で ・ な な な な な な な な な な な な な な な な な な な	備えて、 処置を行 消防用詞	避難は等に対している。	経かの線を りりり り	の確保 具体 検 を 実施	果、消消を 実がし、 各居 各居	対防用設備 対防計画を シ火 室内にあ 室内にあ の が あり	横竹・常 1919
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置 テレビ回線の設置 施設の敷地に関する 敷地の面積 事業所を運営す 損借(借地)	大沢 車椅子の方、要支 防火管理者を防発 ででででいる。 でででは、 大のした、 ででででいる。 大のした、 ででできる。 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢	では、 と資材の は時間である。 が表現では、 はいまする。 一切では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	#ないと	災の定で 害必期、 な な な な な な な な な な な な な な な な な な な	備えて、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	避難は等に対している。	経かの線を りりり り	の確例 具体的 と 実施 (() () () () () () () () () () () () ()	果、消消を 実がし、 各居 各居	解防用設備 解防計画を 次火 <u>室内に都</u> 室内に都 の が あり	横作。常 6 6 6
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の内容) 緊急通報を関係の設置が か線電話回線の設置が を変して関する 敷地の面積 事業、抵告機の設置する 質借(借地)	大沢 車椅子の方、要支 防火管理者を防発 ででででいる。 でででは、 大のした、 ででででいる。 大のした、 ででできる。 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢 大沢	型め、火災・ 経資材の使用 対路の指導の 活帯えていま	#ないと	災の定で 害必期、 な な な な な な な な な な な な な な な な な な な	備えて、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	避難は等に対している。	経かの線を りりり り	の確例 具体的 と 実施 (() () () () () () () () () () () () ()	果、消消を 実がし、 各居 各居	解防用設備 解防計画を 次火 <u>室内に都</u> 室内に都 の が あり	横作。常 6 6 6
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置が 施設の敷地に関する 敷地の面積 事業所を運営す 質借(借地) を設の建物に関する	大沢 本 大沢 本 大沢 本 大沢 大沢 大	では、 と資材の は時間である。 が表現では、 はいまする。 一切では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	#ないと	災の定で 害必期、 な な な な な な な な な な な な な な な な な な な	備えて、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	避難は等に対している。	経かの線を りりり り	の具検実 (12) 終し	保 1 名 名 名 名 名 3 1 .()	解防用設備 解防計画を 次火 <u>室内に都</u> 室内に都 の が あり	横作。常 6 6 6
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報を関係の設置が が表現のの設置が が表現のの設置が を変別を表現のの設置が が表現のの設置が を変別を表現のの設置が を変別を表現のでである。 を変別を表現である。 を変別を変別を表現である。 を変別を表現でする。 を変別を変別を表現を表現である。 を変別を表現でする。 を変別を表現を表現を表現である。 を変別を表現を表現を表しを表現を表現を表現を表現を表現を表現である。 を変別を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表え	大沢 車椅子の方、要支 防火管理では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	では、 と資材の は時間である。 が表現では、 はいまする。 一切では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	#ないと	災の定で 害必期、 な な な な な な な な な な な な な な な な な な な	備えて、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	避難は等に対している。	経かの練 りりりり	の関係を実施 (() () () () () () () () () () () () ()	保 1 名 名 名 名 名 3 1 .()	解防用設備が大火 室内による マウス マウス マウス マウス アウス マウス アウス アウス アウス アウス アウス アウス アウス アウス アウス ア	横作。常 6 6 6
バリアフリーの対応 (その内容) 非常災害対策 (その内容) 緊急通報装置の設置 外線電話回線の設置が 施設の敷地に関する 敷地の面積 事業抵借地) (な) を選物の延末の設置が を選替の設置が を選替の設置が を認めてである。	大沢 車を受ける。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	では、 と資材の が開発の に関する では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	#ないと	災の定で 害必期、 な な な な な が が が か が か が か が か か が か か か か	備えて、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	が 一一 一 の 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	経かの練 りりりり	の関係を実施 (() () () () () () () () () () () () ()	保 1 名 名 名 名 名 3 1 .()	消防用設領 消防計 で災・引 室内にあ の が あり あり	横竹・常 1919
バリアフリーの対応 (その対策) (その対策 (その対策 (その対策 (その対策)を通報を関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	大沢 車を受ける。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	では、 と資材の が開発の に関する では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	#ないと	災の定で 害必期、 な な な な な が が が か が か が か が か か が か か か か	備えて、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	が 一一 一 の 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	経かの線 あああ あし あし	の関係を実施 (() () () () () () () () () () () () ()	保 1 名 名 名 名 名 3 1 .()	所用設備 所所で災・財 室内によ の あり あ あり	横竹・常 1919
バリアフリーの対応 (その対策) 「その対策 (その対策) 「その対策 (その対策) 「の対策 (できる) 「ないでは、できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	大沢 車椅子の方、要支 が器成ま災害で、 ででででである。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででででできる。 でででできる。 ででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	では、 と資材の が開発の に関する では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	災の定で 害必期、 な な な な な が が が か が か が か が か か が か か か か	備えて、行業の関係を表現して、行業の関係を表現して、行業の関係を表現して、 1棟	が 一一 一 の 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	経かの線 あああ あし あし	の関係を実施 (() () () () () () () () () () () () ()	保 を 各 各 名 31.(942.	所用設備 所所で災・財 室内によ の あり あ あり	横作。

田老+	からの芸術	に対応で	する窓口等の状況						
				<u></u> からの苦情に対応する窓口					
77	窓口の名		①メディカルホ-	<u> </u>					
	電話番号	<u> </u>	1 048-823-7023						
	-5PH PH (7		② 0120-251-662						
	対応して	ハス時	平日	19:30-17:00 29:3	0-18:0	0			
	別心して	A . のh4	土曜	①9:30-17:00 ②なし					
			日曜・祝日	19:30-17:00 ②なし					
		日等		5日営業しております。 ②土日、	祝日、年末年	始			
上記	は以外の利	用者から	うの苦情に対応す						
	*	. +1		建福祉局 福祉部 介護保険課 和区役所 高齢福祉課 介護保険係					
	窓口の名	孙							
			3 均 工 宗 国 氏 健 原		情対応係				
	重託番品	<u>L</u>	2048-829-61						
	電話番号	ī	3048-824-25						
			平日	9:00~17:00					
	対応して	いる時	土曜	なし					
	間		<u> 一唯</u> 日曜・祝日	なし					
	完体	:日等	土日、祝日、年						
(4)	<u> 一 をか</u> こおける対			IV 1 4M					
	害賠償責任			生したときの対応 「福祉事業者総合賠償責任保険」	に加入				
70	」 D他、介護	サービス	<u>:</u> スの提供により賠	償すべき事故が発生したときの対応	に関すること	<u> </u>			
	なし	あり	(その内容)						
ービ	スの提供内	容に関す	<u>.</u> する特色等						
まる 分	こお聞きし	ノます 。	そして、その方	家庭でのそれまでの暮らし、ご趣 の個性にあわせた暮らし方を、趣 季節イベントに反映させていきま	味講座や、音	賽体操、			
外にごおり	は、ご入局 人居者様 の ります。 a	居者様や の日常生 まどかは	ご家族様の要望 活の負担を軽減 生活の場ですの	を取り入れながら自由に変えてい するため、リビングルームや浴室 で、365日24時間、自由に面	けることが料 を各フロアに 会に来てい <i>れ</i>	持徴です。 二配置して Hだける環			
暮	らし」の は	お手伝い	をさせていただ		変わらない	ふつうの			
				よる評価の実施状況等					
利月	月者アンク	ート調査	1	者の意見等を把握する取組の状況	0011	00/05			
	なし	あり	実施した年月日	I to seem	2011年1				
-			当該結果の開示	大沈	なし	あり			
弟三	E者による	評価の	1						
		+ /1	実施した年月日	III のなが					
	なし	あり	実施した評価機関当該結果の開示		なし	あり			

5. 利用料金

利用	料の	支捷	ムい方式		— B	寺金方式	月打	ムい方式		選択方	式
敷金	È				保証金	1,000,	000円	(家賃等	手の 約	3.5 か月	(分)
月払	い方	式									
	月単	位で	で支払う利用料								
		年齢	に応じた金額設			なし	あり				
		要介	↑護状態に応じた	金額設定		なし	あり)			
		料金	プラン								
						月額			(内訳)		
			プラ	ン名称		計	家賃相 当額	介護費 用	食費	光熱水 費	管理費
			期間設定型契約			290,500	112,000	52,500	52,500	31,500	42,000
			※介護保険サー	ビスの自己	己負担額	は含まない。					
		算	家賃相当額	ホームが	が所在す	る地域の不動	加産賃料	相場等を	もとに算	出	
		定根)時間換	介護者2.5名 算)を採って					
		拠	介護費用	上乗せる ※自立の おります	介護費用 の場合に す。この	付の基準を上 (52,500円) は、自立者生 場合、上乗せ ビスの自己負)を頂戴 E活支援! と介護費!	しており 費用(12 用はいた	ます。 23,900P だきませ	引)を頂郭	-
			食費	1日3 <u>1</u> す。	まおよび	茶菓子のご提	提供に要う	する費用	としてエラ	「戴してる	おりま
			光熱水費			道料金、電気	••••			います。	
			管理費	【運営費	貴 】施設	の維持・管理	費に充	当するも	のです。		
その)他留	意	事項	保証金、	家賃相当	当額は非課税、	それ以	外は消費	税対象と	なります	•

一時金方	式・月払いフ		
介護	候保険サービス	スの自己負担額	
	内容	※要介護度に応じて介護費用の1割を徴収する。	
人員	配置が手厚い	い場合の介護サービス(再掲) なし あり	
	内容	上乗せ介護費用	
	利用料	52,500 円 (月額 ・ 日額)	
	算定根拠	要介護者2.5名に対して常勤換算で1名以上の職員体制(週40時間換算)を採っているほか、看護職員を24時間配置しています。この介護保険給付の基準を上回る人員体制分の料金として算出した上乗せ介護用(52,500円)を頂戴しております。 ※自立の場合には、自立者生活支援費用(123,900円)を頂戴しております。の場合、上乗せ介護費用はいただきません。	
	支払い方法	月単位 * 利用者の不在期間において、返金・割引等はありません。 * 要介護認定結果が変更され、自立となった場合(要介護認定が取消された場合)、その変更日(従来の要介護・要支援認定結果の満了日の翌日)に遡って上乗せ介護費用は自立者生活支援費用へ変更されます。 * 月途中に利用契約が開始もしくは終了した場合および要介護(要支援)度の変更があった場合、当該月の上乗せ介護費用/自立者生活支援費用は、1ヶ月30日とする日割り計算にて算出します。	•
利用		・ は選択による生活支援サービス利用料	
	個別的な選択	Rによる生活支援サービス なし あり	
	算定根拠	1、外出時の同行(1時間あたり、1,575円) 2、各種手続き代行(1時間を たり、1,260円) 3、買物代行(1回あたり、210円) 1・2につきましては、別途、往復の交通費の実費をご負担いただきます。	ち

料金改定の手続

- 1. 本施設の所在する地域の自治体が発表する消費者物価指数および人件費、また諸種の経済状況 の変化等を勘案し、事業の安定的継続の視点から、運営懇談会の意見を聞いて、共通費用および有 料サービスの単価を改定することができます。
- 2. 厚生労働省の定める介護保険法上の特定施設入居者生活介護の介護報酬単価および所在地域の 地域区分基準等、介護保険給付の基準が変更される場合には、それに応じて介護保険給付費を変更 します。
- 3. 本施設の所在する地域の自治体が発表する消費者物価指数および人件費、また諸種の経済状況の変化や介護保険制度の改正等を勘案し、事業の安定的継続の視点から、運営懇談会の意見を聞いて、上乗せ介護費用/自立者生活支援費用を改定することができます。

6. その他

	育料老人ホーム設置時の老人	福祉法第29条第1項に規定する届出		あり	なし		
₹	有料老人ホーム設置運営指導指針に対する不適合事項						
	なし						
	あり(その内容)					

添付書類:「介護サービス等の一覧表」(付録参照)

重要事項説明書及び- 受け、理解しました。		項目について	〔説明を
	年	月	B
利用者署名			<u> </u>
保証人署名			印

卸